



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町  
マスコット  
キャラクター  
「カーミン」

# かみかわ

第 57 号

平成 30 年 10 月 11 日



寺前幼稚園・小学校合同運動会

平成29年度決算	2 ~ 6
議案審議の様子	7 ~ 8
委員会の活動	9 ~ 14
4人が登壇 いっぱん質問	15 ~ 19

# 平成29年度決算認定

## 97億5713万円(一般会計)

第86回定例会は、9月4日から27日までの24日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告4件、条例制定・改正4件、財産処分1件、消防ポンプ自動車の取得1件、平成30年度補正予算10件、平成29年度決算認定13件の計33件が提案されました。

決算審議では、監査委員より各会計とも適切に処理されていることや、若干のコメントも加えられた報告があり、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

懸案事項として普通会計において合併後初の実質単年度収支(積立金の取り崩しが無いものとした決算)が赤字になり、額は△1億95336万5000円です。経常経費の節減を求めました。

また、4人の議員による一般質問では、行政への提案や、改善点等の質疑応答が行われました。

基金(貯金)残高 40億4700万円

(一人あたり35万円)

地方債(借金)残高 1119億9800万円

(一人あたり103万8000円)

平成29年度各会計決算

われました。

認定は、議長・議会選出

また、平成30年度神河

監査委員を除く10人の議

町一般会計補正予算(第

員による決算特別委員会

3号)は総務文教常任委

に付託され、9月12日、

員会に付託されました。

13日の2日間で審議が行

補正予算では、大河内

高原整備費や福祉施設用

土地購入費、西日本豪雨

による災害復旧工事費の

増額等が集中審議され、

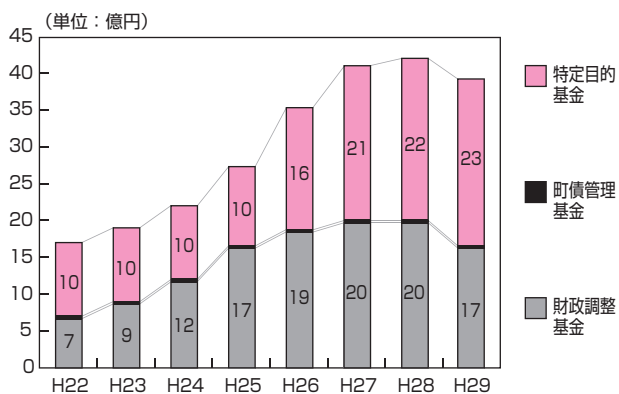
委員全員の賛成で可決さ

れました。

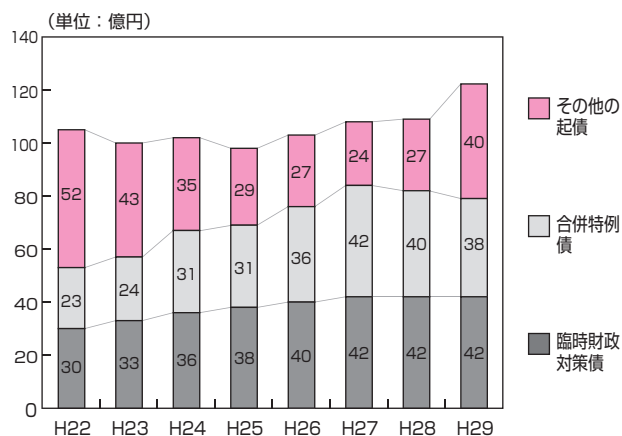
# 町の財政グラフ

## 貯金が減り気味、借金は増加傾向

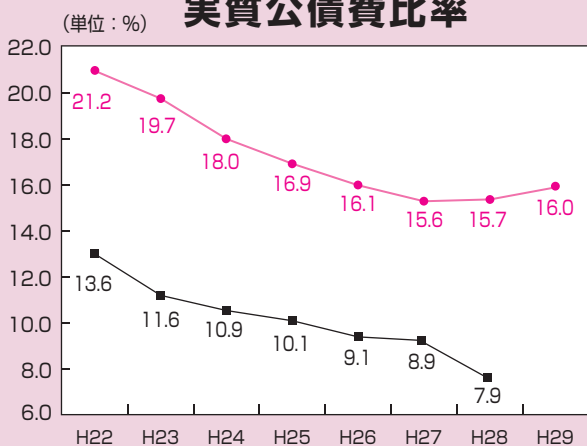
### 基金(貯金)の残高の推移



### 地方債(借金)の推移



### 実質公債費比率



#### ◆実質公債費比率とは◆

税などの収入に対して借金の返済に使ったお金の割合。

#### ◆神河町の実質公債費比率の特徴

旧両町の大規模事業による町全体の起債残高の元金償還が多額なことから、比率が高く類似団体と比べても高い水準となっている。この比率を下げるために「公債費負担適正化計画」の着実な実施により改善している。

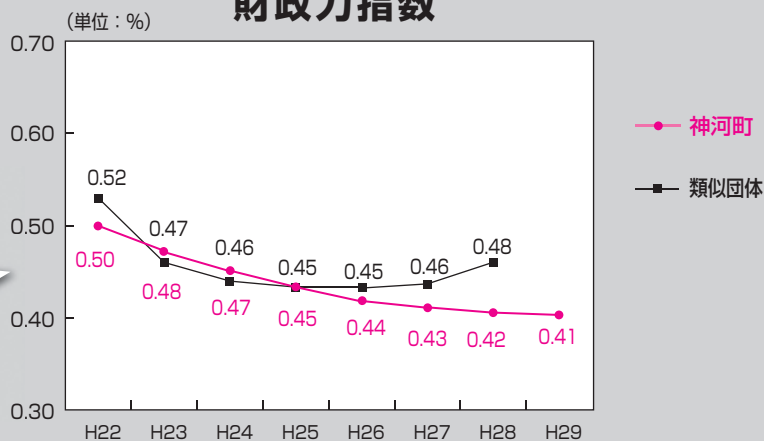
#### ◆財政力指数とは◆

使うお金に対して入ってくる税金などの割合。1に近いほど財政に余裕があるとされている。

#### ◆神河町の財政力指数の特徴

町税のうち、固定資産税の償却資産(水力発電所)の減少が要因となり、指数は年々低くなっている。今後も確実に下がっていく。

### 財政力指数



## 決算特別委員会

9月12・13日開催

## 主なQ&A

### 歳入

**Q** 町税の収入未済額が9000万円近くあるが、対策は。

**A** 100万円以上の滞納が約20世帯あり、滞納額の3割を占める。徴収部門の職員を4月から1人増員したので、徴収率を上げる。

**Q** ふるさと納税の神河町への効果は。

**A** 2035件の寄附があり、返礼品の経費と他自治体への町民税流出を差し引くと、1360万円の黒字であった。

### 歳出

#### 総務費

**Q** 決算説明資料に事業の効果・成果・達成度の説明は記載があるが、課題についても記載したらどうか。

**A** 常任委員会での資料には課題について記載しているのので、ご理解願いたい。

**Q** シングルマザー移住支援協議会補助金に約900万円支払われているが、内容は。

**A** 事務局に役場、共励会、商工会、県に入ってもらっている。シングルマザーの就労支援を協議している。特徴的なこととして、介護初任者研修に6人参加して全員合格し、国家資格を取得された。

#### 商工費

**Q** 峰山高原スキー場建設により小田原川に泥水が流れることがあったが、寺前漁協への補償と今後の対策は。

**A** 工事業者が漁協に補償金を支払った。対策として緑化工事を行っている。

**Q** 峰山高原に設置予定の遊具ジップラインは、7月1日オープンと説明を聞いていた。未だ工事ができていないが、県からの許可が遅れ、工事ができていないオープンできる。

**Q** 峰山高原スキー場とリラクシアの指定管理者である(株)マックアースによる雇用状況は。

**A** 30年3月末でスキー場が40人(うち町内20人)、リラクシアが21人(うち町内11人)である。

**Q** 巨大ジャングルジムとテラスの建築確認申請はしたか。

**A** ジャングルジムは遊具であるので不要。テラスは高さ8m以上なので、申請する必要がある。



完成したジップライン

**Q** 水車公園こっとう亭に併設されたコンビニの看板が小さすぎて、観光客は素通りする可能性が高い。のぼりを数本立てるなど、改善できないか。

**A** コンビニの運営は農産物生産組合に委託しているのので、協議する。



見えにくい看板

### 衛生費

**Q** 水質検査を現在は6河川（市川・越知川・小田原川・追上川・猪篠川・犬見川）で行っているが、谷川の検査を行い、6河川との違いがないか点検すればどうか。そうすることにより塩カルや下水処理施設の排水の弊害があるのかしつかり分析できる。

**A** 検討する。

**Q** 家庭用生ごみ処理機（コンポスト）への補助実績は29年度167台であったが、クリーンセンターでのごみ投入量減につながったか。

**A** 可燃ごみは前年度比△19トンだったが、空き家の片付け事業の影響で粗大ごみが44トンの増という結果。

今後、コンポスト購入者にごみ減量協議会で協議したアンケート調査を行い、ごみ減量化に向けた分析を行う。

### 土木費

**Q** 福本地内の道整備交付金事業の神崎市川線は、いつになったら完成するのか。

**A** 平成33年頃に舗装仕上げの予定である。

### 教育費

**Q** 人型ロボット「ペッパー」はどのような経緯で納入されたのか。また、活用補助金の内容は。

**A** ソフトバンク社からの3年間無償貸与で、後は返却する。活用補助金は、研修会講師謝金、全国発表会旅費、保険料等である。

### 農林水産業費

**Q** 道の駅「銀の馬車道・神河」がオープンしたが、狙いの中で「地元の高齢者が主体となって地元特産品が楽しめるアントナショップや直売所を開設、高齢者コミュニティビジネスの拠点として情報発信。」とあるが、実際はそんなことにはなっていない。今後どうするのか。

**A** 関係者で集まり、改善に向けて知恵を出し合いたい。

### 総括

**Q** 修繕料一覧で高額な費用が上がっているが、人為的なミスはないのか。

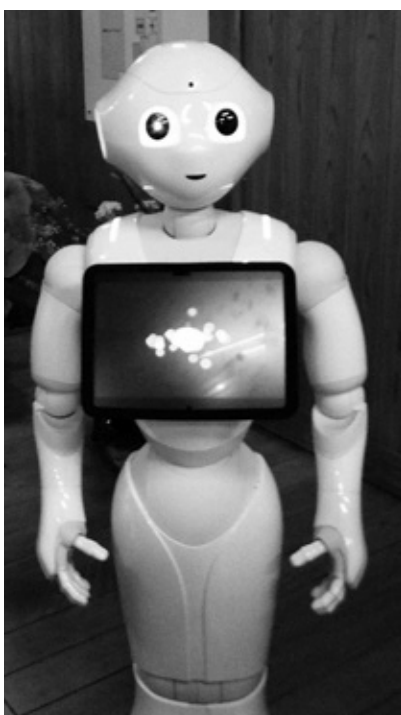
**A** 不注意等での修繕もあるが、経年劣化によるものがほとんどである。点検等により長寿命化に努めている。また過失の場合でも指導を行い、危機感を持って再発防止に努めている。

**Q** 地域創生事業で農林水産省から派遣された参事に、町のために尽力していただいたその功績は。

**A** 特に山の再生、活用を支援していただいた。国との調整をしていただき、地方創生推進交付金などの獲得に尽力いただいた。

**Q** 29年度だけの単年度決算では2億円弱の初めての赤字だったが、今後の財政運営をどう見ているのか。

**A** 今後を見通す中で非常に危惧している。予算縮小を念頭に置いて財政運営をしていく。投資的なハード事業の縮小、施設の長寿命化、補助金の見直し等で全体的な歳出を抑えていく。平成33年度以降の財政収支は非常に苦しい運営が推測される。人口が減っても維持していける町づくり、行政運営に努力していく。



人型ロボット「ペッパー」

決算特別委員会では、委員間討議を行い、4項目について町執行部へ提言を行いました。提言の内容・提言に対する町長答弁を6ページに掲載しています。

## 決算特別委員会提言

1. 議会に対する情報提供は速やかに行うこと。資料提出にあたっては、<sup>ごびゅう</sup>誤謬無きようチェックを行った上で、早期の提出を心掛けること。
2. 当初の考え方に<sup>こうでい</sup>拘泥すること無く常に検証を行い、それを踏まえて総合的な見地から事業展開を図ること。
3. そのためにも、各課の連携と相互のチェックを図ること。
4. 管理職が先頭に立ち、全職員が危機感を持って職務にあたり、事業を成功に導くこと。

## 町長答弁要旨

- ・ 情報提供における連携不足や各課連携、相互チェックが充分に行えず、心配をかけた点はしっかりと反省し、今後に生かしていく。
- ・ 事業展開にあたっては、「効果・成果・達成度」を絶えず検証し、一方では、即解決とならない課題や問題点についても明らかにしながら、長期的展望に立った事業展開に努める。
- ・ 町民の皆様の安心と安全、お年寄りがいつまでも元気で、地域に若者が集い、安心して子どもを産み育てることができる、「住むならやっぱり神河町」の実現に向けて、引き続き、執行部一丸となって取り組んでいく。

## 決算に対する監査委員の主な意見

監査委員 清瀬 茂生  
小寺 俊輔

平成29年度全会計について、7月6日から27日の間の7日間で各会計に対する決算審査を行い、決算計数等、いずれも法令に準拠して適切に処理されていることを認めました。

なお、下記の点について特に意見しました。(抜粋)

- ・ 内部統制システムの運用の徹底を図られたい。
- ・ 各課における窓口での現金收受や金銭の代用となる証券(郵便切手)の扱いについては、現金のダブルチェックの励行や郵便切手受払簿などによる管理を行って、事故を防止されたい。
- ・ 補助金交付団体の会計処理は、要綱に基づいて適正に管理を行うこと。所管課の責任において支出の成果を確認し、決算内容によっては補助金額の見直しも検討されたい。
- ・ 町内の公共施設等は老朽化が進んでいる。公共施設等総合管理計画に沿って長寿命化のための補修や更新、統廃合などを着実に進められたい。
- ・ 学校統廃合後の跡地利活用は、PFI事業の見直しを含めて、あらゆる角度から検討し、その方向性を早期に確立されたい。
- ・ 公会計制度導入により、統一的な財務書類(4表)が作成されたことは評価できる。今後はより精度を高め、効率的な行財政運営に活用されることを期待する。
- ・ 町税等滞納整理委員会において、各課間連携を一層強化して、適切な債権管理に取り組まれたい。未収金回収の法的手続き(裁判所への申し立て)は、公立神崎総合病院のみならず、他の債権での実施も視野に入れ研究されたい。
- ・ 地域創生事業は、多くの事業に挑戦されていることは評価する。今後は実績に基づく事業の精査を行われたい。
- ・ 公立病院を設置している町として、地域包括ケアシステムの構築に向けての関係各課の密接な連携による精力的な取組を期待する。

**平成30年度神河町一般会  
計補正予算(第3号)**

西日本豪雨による災害復旧費3億1880万円や神戸大学医学部国際がん医療・研究センター寄附金3000万円などによる補正で、歳入歳出それぞれ4億7163万4000円を増額するものです。

**神河町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件**

町内の4事業所が指定居宅介護支援事業者です。これまで県に指定権限があったものが、介護保険法改正により町に指定権限が移ったため新たに条例を制定するものです。

**平成29年度(第20期)株式会社神崎フード経営状況報告の件**

総売上高は、13億6992万円で、前期より3996万円(3%)の増、最終利益は406万円で、5年連続の黒字となりました。

**公立神崎総合病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定の件**

公立神崎総合病院の室料差額、普通診断書、死亡診断書などの使用料及び手数料は28年間改正されておらず、このたび近隣の病院のものを参考に改正するものです。主なものとして、普通診断書は1620円が2160円に、死亡診断書は2160円が3240円に改正されます。施行日は、室料差額等については、平成31年1月1日。普通診断書等は平成31年4月1日。

**財産処分**

町有地(福本521番地 1243㎡ 神崎高校隣接)を障害者福祉施設用地として30年間賃貸借するものです。契約相手は社会福祉法人いづみ福祉会で、市川町のゆかり作業所を運営されている法人です。賃料は年間約107万円、最初の5年間は免除されます。

**神河町消防団条例の一部を改正する条例制定の件**

人口減とともに消防団員も減少傾向にあることから、条例定数と実団員数の差が大きくなっています。条例定数742人を666人に改めます。施行日は、平成30年10月1日。

**神河町消防団小田原分団南小田部消防ポンプ自動車の取得の件**

小田原分団南小田部の消防ポンプ自動車を更新されます。消防ポンプ自動車はいすゞエルフで6人乗り、取得価格は1436万4000円です。納車は、平成31年3月末予定。



取得予定車両と同型車 CD-1型  
(H29年度配備越知谷分団 大畑部配備車両)



## 議案等の審議結果

### ◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第 8 号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第 9 号	平成29年度(第20期)株式会社神崎フード経営状況報告の件
第 10 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件
第 11 号	平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告の件

議案番号	件名
第 68 号	神河町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件
第 69 号	神河町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第 70 号	神河町消防団条例の一部を改正する条例制定の件
第 71 号	公立神崎総合病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第 72 号	財産処分の件
第 73 号	神河町消防団小田原分団南小田部消防ポンプ自動車の取得の件
第 74 号	平成30年度神河町一般会計補正予算(第3号)
第 75 号	平成30年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第1号)
第 76 号	平成30年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
第 77 号	平成30年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
第 78 号	平成30年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
第 79 号	平成30年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
第 80 号	平成30年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)
第 81 号	平成30年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)
第 82 号	平成30年度神河町寺前地区振興基金特別会計補正予算(第1号)
第 83 号	平成30年度神河町長谷地区振興基金特別会計補正予算(第1号)
第 84 号	平成29年度神河町一般会計歳入歳出決算認定の件
第 85 号	平成29年度神河町介護療育支援事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 86 号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 87 号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 88 号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 89 号	平成29年度神河町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 90 号	平成29年度神河町訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 91 号	平成29年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第 92 号	平成29年度神河町寺前地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第 93 号	平成29年度神河町長谷地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第 94 号	平成29年度神河町水道事業会計決算認定の件
第 95 号	平成29年度神河町下水道事業会計決算認定の件
第 96 号	平成29年度公立神崎総合病院事業会計決算認定の件



# 委員会の活動

## 総務文教

8月17日開催

### 教育課

地域交流センターの短期山村留学事業は、宿泊を伴うので、旅館業とみなされ、旅館業営業許可が必要となる。

**Q** 旅館業の適用を受けるには消防火、浄化槽の関係で改修に6000万円程度かかる。民泊申請等も含めて今後の方向性は。

**A** 31年度以降については、早急に検討しないといけないので、幼稚園・小学校の統合問題とあわせて、地域の方々と一緒に方向性を見出ししていく。

**Q** 教育委員会で長谷幼稚園の休園が議題に上がっており、長谷、越知谷の幼稚園・小学校の統合も含めて考えると、その間の職員の定員配置をどうするのか。

**A** 長谷幼稚園は、今の見通しでは31、32年度の2年間は休園状態になる。

職員は、他の幼稚園への異動も考え、うまく配置できない場合は、教育委員会等で対応する。また、転入があった場合の対応も協議しておく。

**Q** 荒天時の小学校・中学校の登下校の判断基準は。

**A** 午前6時の時点で警報が出ていたら、自宅待機にしており、8時半までに解除されれば、登校を指示している。基本的には警報が基準であるが、警報が出ていなくても状況によっては全校長と連絡を取り、連携を図りながら決定している。

**Q** 夏期休業中の公民館の無料開放は大変好評で、冬休みも実施の要望があるが。

**A** 教育課としては開放したいので、公民館の利用状況を勘案しながら、可能な部分で実施を検討していきたい。

### 情報センター

**Q** インターネットの速度は、31年4月になれば、町内全域1Gbpsまで上がるのか。

**A** 31年4月1日をもって1Gbpsの速度への切替えを完了する。局舎と加入者宅間は1Gbpsでつながるが、インターネット空間を出た後は、回線の混み具合によって変わってくるので、全てが1Gbpsでつながるとは言い切れない。

### 会計課

30年7月末の現金等保管総額は6億3581万6185円で、一時借入金はありません。

### 税務課

個人住民税の特別徴収事業者の一斉指定は、混乱もなく順調に推移している。

コンビニ収納は、7月末現在で1749件、2989万414円、クレジット収納は、41件、46万700円となっている。

### 総務課

神戸大学は、医療機関と密接に連携し、先進的がん医療、次世代医療器械の研究・開発に取り組んでおり、そのプロジェクトに対しての支援依頼を受けている。

**Q** 神戸大学の国際がん医療・研究センターへの寄附金3000万円を予定しているが、今まで寄附講座で毎年3300万円を寄附しているのに、非常に厳しい話である。財源確保をどう考えているか。

**A** 従来の寄附は医師確保の観点からの寄附講座なので、過疎債の対象である。今回の新たな寄附の財源は、一般財源として確保している。

寄附をして、神戸大学との連携をさらに強めていくことによって、医師派遣に展開されていくという確信のもとで取組を進めている。



コンビニ収納の様子

8月9日開催

公立神崎総合病院

平成30年6月末までの入院患者数は約9700人で、前年度に比べ約200人の減、特に整形外科の減少が目立ちます。外来患者数は約2万5700人で前年度に比べ約2800人減っています。姫路聖マリア病院との連携状況は、産婦人科の分娩の紹介が平成30年7月末現在で17件ありました。

**Q** 町から病院への繰入資金について町民の理解を得るために医師以下、全職員が危機感を持って経営改善に取り組む姿勢を示すことが必要。町外在住職員への「ふるさと納税」の推進も含めて、町長の思いが伝わっているのか。

**A** 病院の月例会議には町長も出席している。「町を挙げて、病院を中

心にまちづくりをやっている」ことを、特に医師に伝わる方法を考える。

**Q** 加古川中央市民病院では、地域包括ケアシステムの確立により、退院後の介護や看護に対して往診の医師を紹介してくれる体制があった。

**A** 神崎総合病院の体制は。地域連携室があり、開業医や介護施設等と連携を図っている。しかし、訪問診療を行っているのは専門の診療所1ヶ所と開業医1ヶ所で、訪問介護サービスも不足気味である。

今年4月に院内に設置された神崎郡在宅医療・介護連携センターは、地域包括ケアシステムの一翼を担うものであり、健康福祉課やケアマネージャーとの連携も図り積極的に進める。

健康福祉課

市川町の社会福祉法人いづみ福祉会が福本地内で建設準備をしているグループホームは、予定地に埋蔵文化財がある可能性があり、設計図面を基に教育課と協議が進められています。



グループホーム建設予定地

新規に、共生型サービス（介護保険の通所介護）を行う事業所を来年3月頃に開設したい旨の相談があったとのこと。

神崎支庁舎での日曜証明窓口の縮小・廃止に向けて政策調整会議で協議が行われました。今年4月からコンビニ交付・納付の環境が整ったことから、平成31年4月から第2・4日曜日のみ開設、平成32年4月から全面廃止の予定で進めるとの説明がありました。

**Q** 都市部の自治体では、通勤の帰宅時間に合わせて開庁時間を少し延長するなど、住民ニーズを捉えた対応をしている。日曜証明窓口の廃止については、利用者の意見を十分に聞いて対応を。

**A** 平成31年度の「縮小型」を実施する中で、住民のみなさんの声を聴き、進める。

住民生活課

中播北部行政事務組合の次期ごみ処理施設建設計画は、7月に丹波市クリーンセンターの視察見学会があり、福崎町から

5区、市川町から6区、神河町から5区の参加がありました。今後、区から応募があった候補地とコンサルにより適地として選定された候補地を同じテーブルに乗せて選定します。最終的に各町1ヶ所を候補地選定委員会に提案し、平成31年3月末を目途に候補地の最終選定を行い、その後候補地集落と詳細な詰めを行うとの説明を受けました。

7月5日から7日の西日本豪雨の際、水防指令1号と2号発令の間隔が大変短かった。住民への早期の注意喚起のために、さらに避難時の安全確保の面からも、避難勧告も含め発令のタイミングを検証する必要があるのではないかと。また、避難所の閉鎖時の対応や利用者への配慮について問題はなかったか、との意見がありました。

## 産業建設

8月7日開催  
7月20日現地調査

### 建設課

7月初旬の西日本豪雨による被害状況の報告がありました。復旧に向けて、井堰・水路・農地等の土砂除けを地元で行い、町が半額を補助することになります。

その他、町が実施して地元から負担金をいただく事業と、地元実施後に町が補助する事業があり、それぞれ対応するとのこと。

### 上下水道課

水道では、豪雨により取水口に土砂が詰まり、濁水が出て住民の皆様にご迷惑をかけました。今後整備して綺麗な状態にしておきたいとのこと。下水道の統合では、関連区との話し合いが、なかなか前に進んでいない状況にあります。今後も協

議が長引くようであれば、新たな手法も視野に入れる必要があります。住民の皆様の協力が必要であり、理解が得られるよう努力していくつもりです。

### 地籍課

猛暑の続く中での作業であり、熱中症や害虫の対応をしっかりと行いながら、作業を進めています。事業は、計画どおり順調に進捗しています。

### 地域振興課

#### 《商工観光係》

議会に対して報告無く、巨大なジャングルジムが設置されました。一方でワイヤーを滑車で滑り降りるジップライン設置は全く進んでいません。委員会として全く遺憾であり、この件について追求がなされました。

#### Q

なぜ、議会に報告が無かったのか。

**A** 指定管理により、民間業者に任せている施設なので、民間の事業執行スピードと行政当局とのずれは少し違っており、報告が間に合わないことがあるので、ご理解をいただきたい。

**Q** 指定管理者のマップアースの集客戦略で、報告するつもりが無かったのではないか。

**A** 中途からいきなりであり、驚いた。申し訳なく思っている。

**Q** 巨大ジャングルジムの設置は永久的なものなのか。

**A** 半永久的である。

**Q** 当初から計画のあったジップラインが遅れたのはなぜか。

**A** 県立自然公園内の工事であり、県の許可が長引いたため、及び関係資材が届くのが遅れたためである。

#### 《農林業係》

道の駅「銀の馬車道・神河」は売り場面積が狭いという根本的な問題があり、それを拡大するか、農産物や食事をここにしかない物に特化するなど発想の転換が必要と思われます。今後検討していきますとのこと。

### ひと・まち・みらい課

まるしいたけ事業は、(株)シンケンから撤退の意思表示がなされました。

その理由には納得しがたい点が多く、たびたび先方の社長に面談を要請しているが、未だに何の返事も無いとのこと。まるしいたけ事業の代替候補として、公益財団法人ひょうご産業活性化センターの仲介で、大阪市内でしいたけ菌床の生産販売をしている(株)すずき食品研究所から、「前向きに検討したい」との連絡がありました。

また、フィリピン交流事業で、お互いの特産品

の加工・販売、そして、町内での労働者不足も踏まえて、人・物の交流を進めていきたいとのこと。

### 現地調査

7月20日に、初旬の西日本豪雨災害箇所を調査しました。

長谷地区から大河内高原ライン、日和橋河川敷など、1日も早い復旧を要請しました。



豪雨による土砂崩れ（町道赤田線周辺）

8月20日開催

委員会は病院に向き、設計業者の(株)内藤建築事務所、施工業者の(株)松村組同席による現地調査及び第1期工事の経過報告を受けました。

**Q** 耐震対策は十分か。

**A** 内藤建築事務所

免震構造ではないが、従来の鉄骨自体で持ちこたえる耐震構造であり、震度6〜7までは建物に影響はない。

**Q** 特に今年は例年より温度が高いが、作業員の体調や工事に支障はなかったか。

**A** 松村組

作業員の暑さ対策は十分していたが、軽度の熱中症が1件発生した。また、コンクリートが熱くなり過ぎると工事に影響が出るが、温度を測りながら工事を進めているので、影響は出ていない。

**Q** 第1期工事は順調に進められているのか。

**A** 松村組

今回の工事は病院を運営しながらの建て替えで、非常に難易度が高いが、病院に支障を来さないよう注意して作業している。ほぼ行程どおりに進捗しており、12月に向けて内装工事をし、来年早々に竣工の予定である。



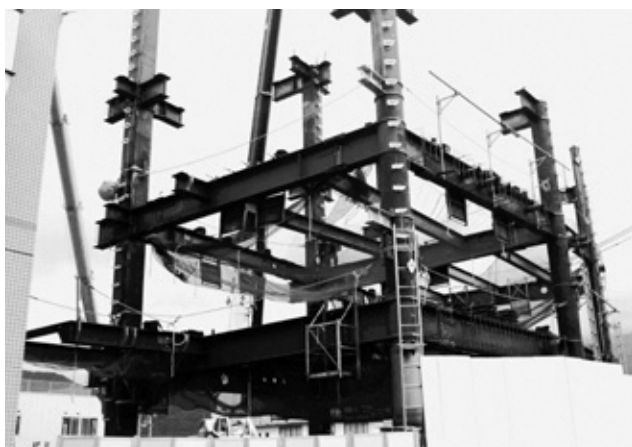
## 工事経過



H30.4.11



H30.5.26



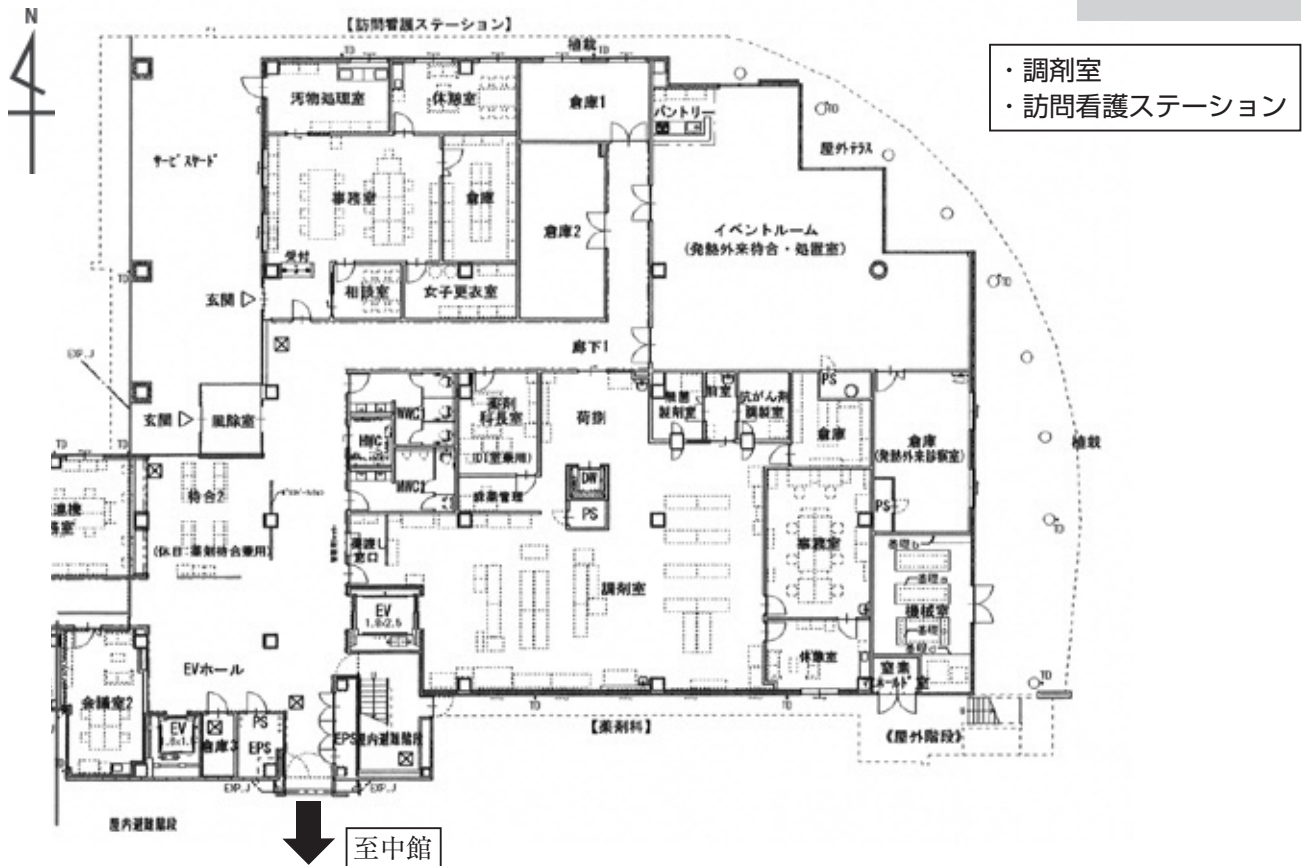
H30.6.19



H30.7.5

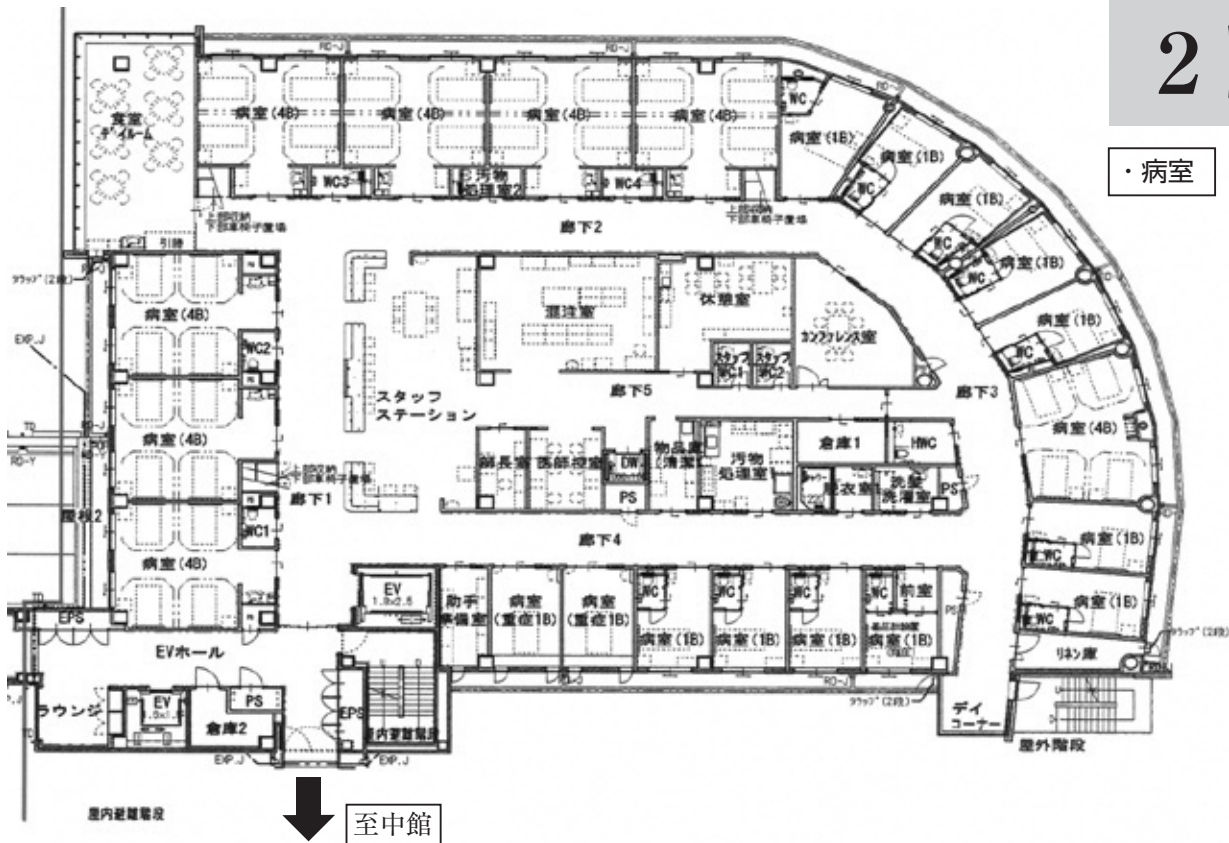
# 北館平面図 (第1期工事)

## 1階



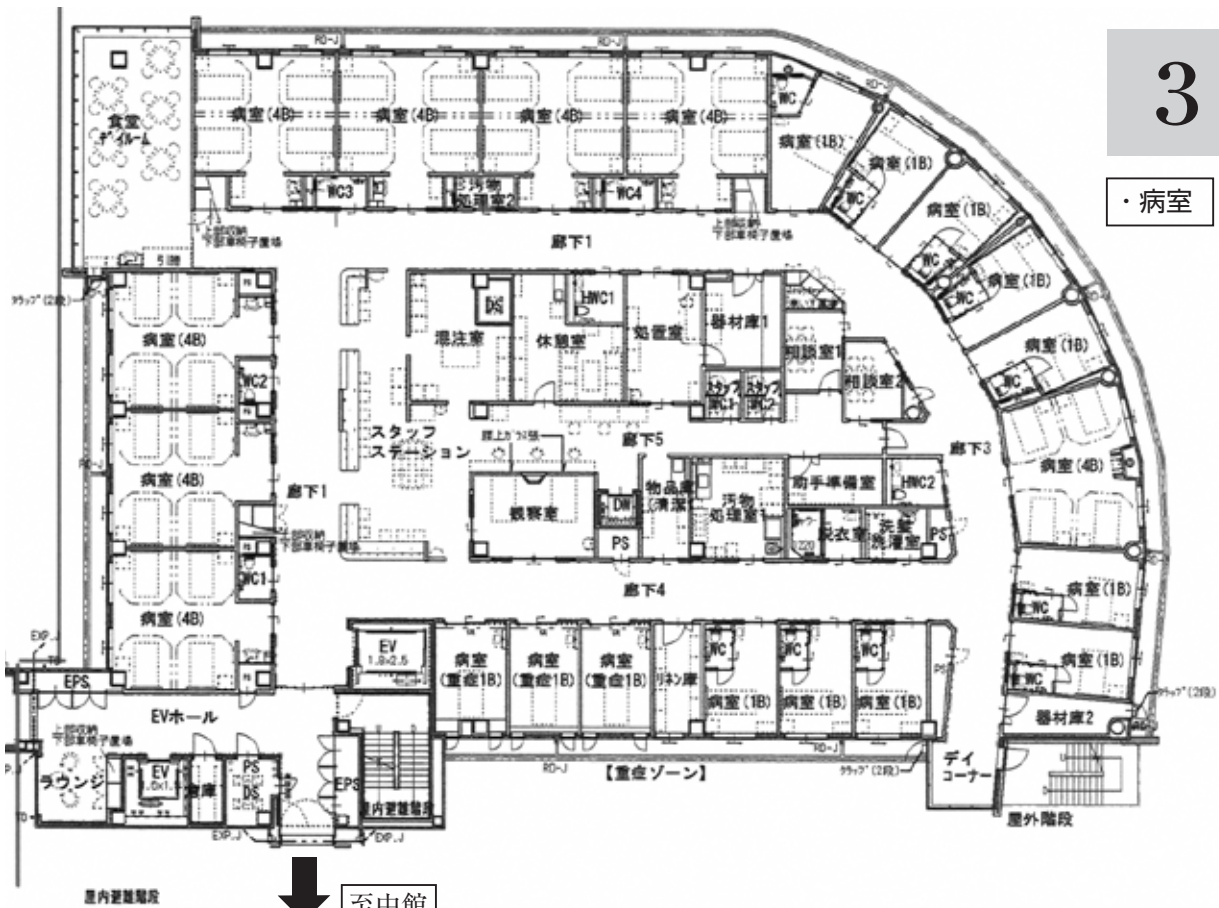
## 2階

- 病室



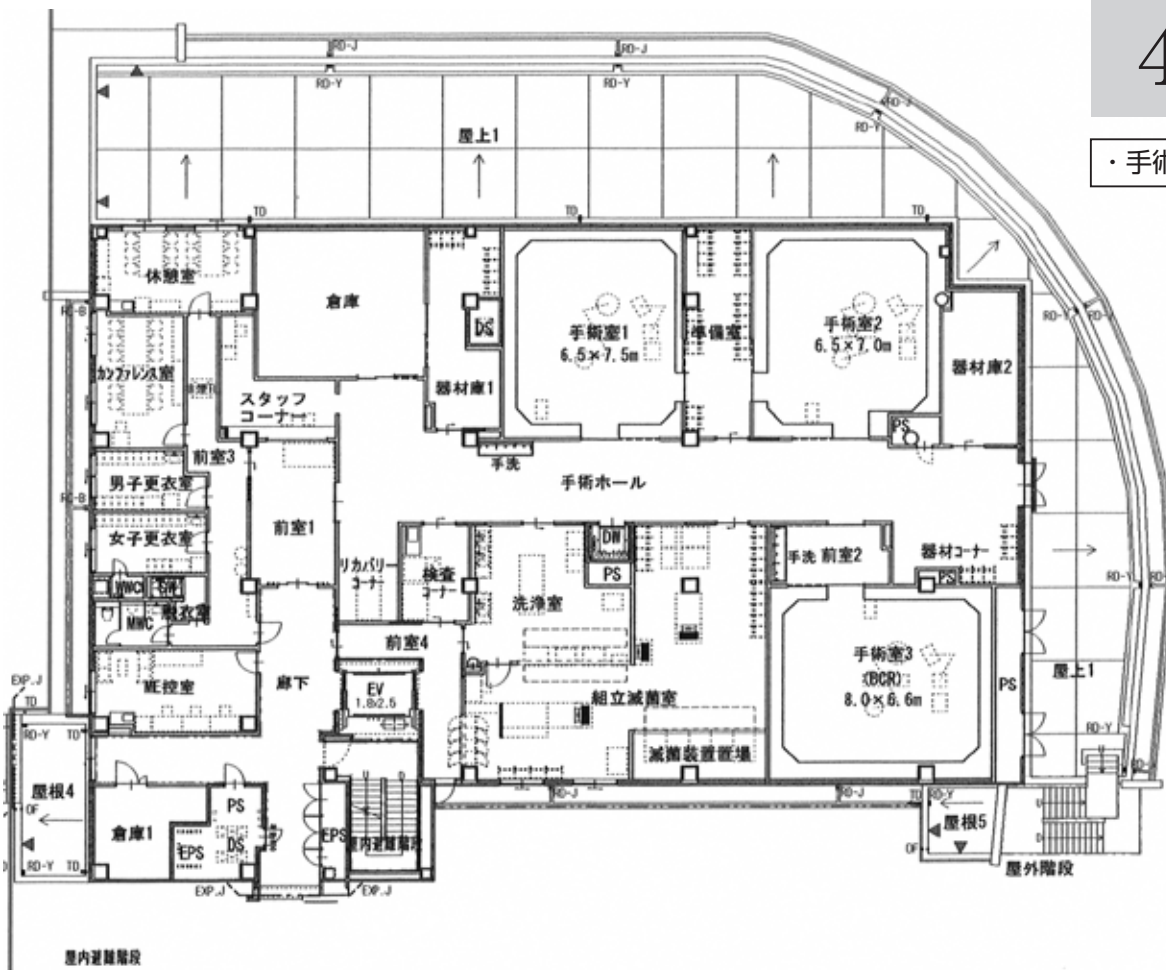
# 3階

・病室



# 4階

・手術室



# みなさんの **声** を

# 町政に

**一般質問** は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は4人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
16	澤田 俊一 議員	①地域包括ケアシステムの生活支援協議体の在り方について ②太陽光発電施設の建設と住民の不安や安全安心への対策を
17	小島 義次 議員	①神河町住民安全対策の充実を ②公立神崎総合病院の外国人利用について ③アグリイノベーション神河(株)について
18	三谷 克巳 議員	①町単自治山・山林出水対策事業補助金交付制度の見直しを
19	松山 陽子 議員	①避難所の環境整備と情報提供について ②消防団活動の後押し支援を

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30人までです。傍聴者が20人以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。

# Q 「近助」の精神を醸成し 安全安心な地域づくりを



澤田 俊一 議員

町長

地域が抱える課題を集約することが  
誰もが安心して暮らせる地域に繋がる

**A** 町長 現在40集落中12集落で協議体が立ち上がり、集落内の現状把握や課題の掘り起こしを行い、具体的な対応策等について検討いただいている。未設置の集落には、それぞれの特性に応じたリーダーの人選も含め、協議体の必要性について丁寧に説明を行う。

**Q** 生活支援協議体は設置しただけでは機能しない。組織を動かすための仕掛けや取組を発展させる人材が必要と考えるが、町の取組の現状と課題、改善方を問う。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて、地域包括ケアシステムが段階的に構築されている。神河町においてもその一環として、地域における支え合いの体制づくりを目的に、各集落で生活支援協議体の設置に取り組んでいるが、思うように進んでおらず、このままでは地域への定着が見込めない。

**A** 町長 同感である。生活支援協議体を地域の安全安心に繋がる取組や希薄化しつつある地域コミュニティの再構築、地域の活性化や町おこしの場として活用していただきたい。顔が見える近所の人助け合う仕組みは、災害時要援護者の支援体制にも生かされるので、自主防災組織との連携は必要不可欠と考えている。

**Q** 協議体を介護や福祉の領域にとどまらず、自主防災組織とも連携して、『近助』の精神を醸成し、向こう三軒両隣で助け合う仕組みに育てることが、誰もが安全安心に暮らせる地域づくりに繋がると考えるが。

**Q** 協議体を創る機運を高めるために、先進事例をケーブルテレビや研修会等で紹介すべきでは。  
**A** 健康福祉課長 年度内に町全体の研修会を開催する。



福本遺跡地内に設置された太陽光発電施設

# Q 太陽光発電施設の建設に関して 町独自の条例制定を

町長 慎重に対応したい

**Q** 近隣住民の十分な理解が得られないまま、太陽光発電施設の建設が進められる事例があるが、行政指導が行えるように町独自の条例や指導要綱をつくるべきでないか。  
近隣の朝来市や多可町では既に条例制定している。神戸市においても、西日本豪雨時の太陽光パネル崩落事故を受け、条例制定の動きがある。  
**A** 町長 各市町独自で条例化の実態もある。県条例や他市町の条例を参考にしながら、慎重に対応したい。

ひとこと

町職員には、行政のプロとして更なる研鑽を望みます。



# 防犯カメラとして、 ドライブレコーダーを活用してはどうか



小島 義次 議員

町長

ドライブレコーダー搭載車シールの装着を  
検討するなど、抑止力の向上に取り組む

**Q** 防犯カメラの設置も進んでいるが、公用車や住民の方のドライブレコーダーを防犯カメラとして活用してはどうか。

**A** 町長 防犯カメラは犯罪抑止、早期発見、解決の検証材料として不可欠になっている。ドライブレコーダーの映像を提供していただくことは有効であり、「防犯ドライブレコーダー搭載車」のシールが運転者の身を守ることに繋がる。今後、公用車のドライブレコーダーの映像提供や、住民の方にも広く広報していくことを考えていく。

**Q** 「日本全国 AED マップ」が表示される。「位置情報を利用して」を OK すると最寄りの AED 設置場所が表示されるなど、リンクされている。

**Q** 町の農業の生産基盤の一端として、峰山の砥峰高原で高原野菜等の栽培ができないか。

**Q** 町内で AED の設置場所は 40 箇所と聞いているが、事前にまた緊急時にその設置場所がすぐ分かるように町のホームページのトップに検索コーナーを設けてはどうか。

**Q** 日本の病院では、健康保険を使えば高度な医療が安く受けられる。その保険制度を不正に使って外国人が高額医療を受けている事例が報告されている。神崎総合病院ではそのようなことはないか。

**Q** アグリイノベーション神河株の実態と経営状況はどうか。

**Q** 町内の農産物を集中化して管理し、少量多品種でも流通システムを整え、それにのせることは可能か。

**A** 町長 町民にとって必要な情報は、ホームページに掲載している。スマートフォンで「神河

**A** 町長 町民にとって必要な情報は、ホームページに掲載している。スマートフォンで「神河

**A** 町長 町民にとって必要な情報は、ホームページに掲載している。スマートフォンで「神河

**A** 町長 町民にとって必要な情報は、ホームページに掲載している。スマートフォンで「神河

## ひとこと

いろいろなアイデアを出して、持続可能な町づくりにがんばろう。

# 伐採補助金の対象になる 危険木の拡充を



三谷 克巳 議員

町長 慎重な対応が必要

町単独治山・山林出水対策事業補助金交付要綱が4月に改正され、危険木伐採費用にも補助金が出るようになり、今年度は18箇所要望があった。個人に所有権、管理義務がある樹木の伐採費用に、公費を充てることには賛否両論があるが、高齢化、人口減少が進む現状では、妥当性があると思うので、この制度内容を見直す必要がある。

**Q** 危険木とは、倒伏により住宅、集会施設に被害を及ぼす樹木と規定されているが、電気・通信設備、公園等に被害を及ぼす樹木、安全通行に支障をきたす樹木も危険木にすべきと考えるが、また、伐採だけではなく枝打ち費用も対象にするべきと考えるが。

**A** 町長 人命優先で、実施箇所を決定している。

保全対象、受益戸数、対象木の状況、数量、費用負担の調整の状況などで優先度を査定している。人命優先なので、電線・公園等に被害を及ぼす樹木は対象外とする。

**Q** 道路際の凍結・融雪等に影響を及ぼす樹木も危険木に含めるべきと考えるが。

**A** 町長 道路管理者として、どの対応していかなければならぬのかを含めて判断していきたい。

**Q** 電線・電話線が断線すると、生活に大きく影響してくる。

**A** 町長 人命に直接係るものに補助をしていくことで制度を設けた。電気・通信事業者の責任範囲だと思うので、整理が必要である。

**Q** 高齢化が進み、人口が減っている中で、善良な管理ができなくなってきたのが現実である。

**A** 町長 積極的な取組が必要と思うが。

**A** 町長 人命を最優先で対策を講じてきたので、制度の拡充は慎重な対応が必要である。

## ひとこと

.....  
人口が減ってくると地域・行政にもいろんな問題が出てくるなあ。

**Q** 補助対象事業費は、100万円が限度額である。

**A** 町長 危険木の伐採には、重機の借上料、伐採木の処分費が高むので、限度額を上げるべきと考えるが。

**A** 町長 危険木の伐採をピンポイントで行い、人命・家屋等を守り、多くの箇所の対応をしたいので、限度額の引き上げは考えていない。

限度額を超えた部分は、所有者に負担していただきたい。



# 避難所の環境整備と情報提供を



松山 陽子 議員

町長

最新の情報収集に努め、安心安全な水防・防災活動等に専念していく

7・8月で、避難勧告が2度発令され、避難所開設の放送もあったが、自主的な避難の行動を取られた方は少なかったようである。

「我が家は大丈夫」との考えの方もあるだろうが、「避難所に何を持って行けば良いのか」「どんな環境なのか」など、分からないこともあり、行動に移せなかった方も多いと思われる。

**Q** 町開設避難所の暑さ・寒さ対策や空調設備は。

**A** 防災特命参事 空調設備が整っているのは、センター長谷のみである。寺前・神崎小学校では、避難者数が少ない場合は学童ルームの使用が可能。大人数で体育館を使用する場合、現時点では対応は難しい。

**Q** 避難所で準備されているものは。また、長期間となった場合の対応は。

## 町開設の避難所

- \*主に非常食として、アルファ化米や飲料水。
- \*災害備蓄用品として、簡易ベッド5台、毛布20枚程度。
- 各区開設避難所
- \*各区に運営管理を委任している。(要請により、町からアルファ化米や毛布は配達可)
- 長期間となった場合
- \*災害時相互応援協定により、西播磨地域5市6町や県等の応援可能。
- \*災害時応援協定により、キンキサイイン(株)マックスバリュ(株)等の応援可能。

**Q** 支援が必要な方の避難対応は。

**A** 健康福祉課長 避難行動要支援者名簿を元に、民生児童委員・自主防災組織リーダー・消防団員等により声掛けや誘導をしていただいてい。介護度が高い方はシヨートステイに、医療依存度が高い方は神崎病院

への短期入院につないでいる。

**Q** 寝たきりや車いす生活者等の避難介助の方法を、講習会やケーブルテレビで広めては。

**A** 健康福祉課長 前向きに検討したい。

**Q** 自主防災の備蓄品との兼ね合いは。

**A** 防災特命参事 自主防災組織の備蓄品は、主に水防活動の機材で、発電機・投光機・延長コード・水中ポンプとホース・ビニールシート・ロープ等。町備蓄の水防活動用資材は、土のう袋・縄・杭・番線・ロープ・かけや等で、消防団からの貸出要請に応じる想定。

**Q** 避難所の環境や各自の準備品などの情報提供と周知の方法は。

**A** 防災特命参事 ホームページ・広報・ケーブルテレビ文字放送・自主防災総会等により啓発活動を行っていく。

消防団活動に協力的な事業所に感謝の意を

**Q** 町民の命や財産を守るために活動くださっている消防団員の皆さんには感謝しかない。しかし、この活動もご家族や職場の理解と協力がなければ、続けることは難しい。町として、感謝の気持ちを形で表しては。

**A** 町長 25年度まで消防初出式・入退団式において、知事表彰として感謝状を贈呈してきた。今後、この制度を有効に活用して、感謝の気持ちを伝えていきたい。

## ひとこと

北海道の人の多くが「まさか自分が被災するなんて…」と。決して他人事ではないですね。

# 主な議会日程

11月

6日(火) 産業建設常任委員会

9日(金) 民生福祉常任委員会

14日(水) 総務文教常任委員会

15日(木) 公立神崎総合病院北館改築  
事業調査特別委員会

12月

3日(月) 議会運営委員会

6日(木) 第87回定例会  
(提案・質疑等)

10日(月) 総務文教常任委員会  
(付託議案)

13日(木)～14日(金)  
定例会(一般質問)

19日(水) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります。

## いっぱい質問

再放送が行われます。ぜひご覧ください。

第86回  
定例会

ケーブル  
テレビ放映

11月6日 (火)	① 澤田 俊一 議員	午後7時00分～
	② 小島 義次 議員	午後8時00分～
11月7日 (水)	① 三谷 克巳 議員	午後7時00分～
	② 松山 陽子 議員	午後8時00分～

あ  
と  
が  
き



地球が壊れるのではと心配する毎日です。

6月に大阪府北部で震度6弱の地震が発生。

7月上旬の西日本豪雨では大規模な土砂崩れや河川の決壊が発生し、200人を超える犠牲者が、下旬には埼玉県熊谷市で41・1度の日本観測史上最高気温を記録し、7月1ヶ月だけで全国で133人が熱中症により死亡。

8月も酷暑と天候不順が続きました。

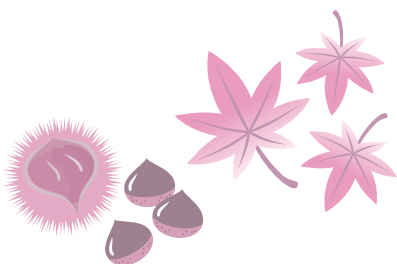
9月4日には台風21号が25年ぶりの勢力で関西地方を直撃し、関西国際空港が閉鎖。6日未明には北海道で震度7の地震が発生し、大規模な土砂崩れなどで尊い人命が失われました。

神河町においても豪雨や台風の直撃がありましたが、幸い人命にかかわる大きな被害はなく安堵したところでした。

山里の秋を迎えた10月、季節の変化を五感で感じ  
楽しみ、健康で過ごしたいものです。

(S・S)

広報公聴活動調査  
特別委員会



委員長	吉岡 嘉宏
副委員長	小島 義次
委員	澤田 俊一
委員	藤原 裕和
委員	栗原 廣哉
委員	藤原 日順